



2024年8月14日

各位

会社名 日機装株式会社  
代表者名 代表取締役社長 甲斐敏彦  
(コード番号 6376 東証プライム)  
問合せ先 執行役員企画本部長 村上 雅治  
(TEL. 03-3443-3717)

## 2024年12月期第2四半期累計期間における業績予想と実績値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年2月14日に公表しました2024年12月期第2四半期累計期間（2024年1月1日～2024年6月30日）の業績予想と本日公表の実績値の差異、および2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の通期業績予想の修正について、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 2024年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異

	売上収益	営業利益	税引前 中間利益	親会社の所有者に帰 属する中間利益	基本的1株当たり 中間利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	101,000	600	900	700	10.58
今回実績値 (B)	102,676	2,736	7,105	5,952	89.92
増減額 (B-A)	+1,676	+2,136	+6,205	+5,252	
増減率 (%)	+1.7%	+356.1%	+689.5%	+750.4%	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2023年12月期第2四半期)	87,219	26	5,444	3,873	58.54

### 2. 2024年12月期通期の業績予想の修正

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に帰 属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	213,000	9,000	9,100	6,200	93.69
今回修正予想 (B)	213,000	7,000	10,700	8,800	132.93
増減額 (B-A)	-	△2,000	+1,600	+2,600	
増減率 (%)	-	△22.2%	+17.6%	+41.9%	
(ご参考)前期実績 (2023年12月期)	192,629	5,885	11,626	9,071	137.09

### 3. 2024年12月期第2四半期累計期間における業績予想と実績値との差異の理由

当第2四半期累計期間においては、中期経営計画「Nikkiso 2025 フェーズ2」（対象期間：2023年～2025年）の基本方針の一つとして取組みを進めている事業ポートフォリオの再構築に伴う一過性の損失はありますが、航空宇宙事業およびメディカル事業は概ね想定通りに推移、インダストリアル事業については主力の米国子会社 Clean Energy & Industrial Gas グループ（CE&IG グループ）が当初想定より生産・出荷が進捗しており、主力事業においては順調な滑り出しとなりました。この結果、全体の営業利益は約27億円となり業績予想6億円を大きく上回りました。更に、円安の進行に伴う為替差益の増加により税引前中間利益、親会社の所有者に帰属する中間利益も業績予想を大幅に上回る結果となりました。

#### ● 事業ポートフォリオ再構築の取組み

- ・ CRRT 事業を運営する連結子会社の株式譲渡に関する減損損失 約6億円  
：本日公表の「(開示事項の経過) 連結子会社の異動(株式譲渡)に関する減損損失の計上に関するお知らせ」の通り、当第2四半期に減損損失を計上
- ・ ヘルスケア製品、UV-LED パッケージに関するたな卸資産の評価損 約12億円  
：中国市場向け空間除菌消臭装置の販売低迷に伴い同製品在庫の全額を評価損計上、同製品向けに製造していた UV-LED パッケージ在庫について、陳腐化が著しいことから市場価格相当まで評価損を計上

### 4. 2024年12月期通期業績予想の修正の理由

2024年12月期通期業績予想について、当第2四半期の業績および各事業の直近動向を踏まえ、営業利益は、当第2四半期に計上した一過性の損失分相当を下方修正します。一方、足元では為替相場の変動リスクが大きく見通しが立ちにくい環境にあるため、当期末時点の為替レートは、当第2四半期末時点の為替レートと同一となる前提で算定しており、為替差益の増加影響により税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は増益を見込みます。

#### ● 主力事業の見通し

- ・ インダストリアル事業：当上半期において当初計画を大きく上回った CE&IG グループは、当下半期に経費の増加を見込むものの、LNG・産業ガス関連事業の既受注案件の着実な遂行により、通期では当初計画並みの利益確保を見込む。
- ・ 航空宇宙事業：航空機メーカーの品質問題影響による生産・出荷の減少を反映し、減収減益を見込む。
- ・ メディカル事業：血液透析事業は中国市場が大きく販売減少も、欧州・アジア市場の販売増と原価低減、経費削減を進め当初計画並みの利益確保を見込む。一方、2024年12月中の株式譲渡を目指す CRRT 事業は主力の中国市場の販売低迷により減収減益を見込む。

また、業績予想の前提となる為替レートを変更（米ドルは140円から150円に、ユーロは150円から160円に変更）します。なお、今回の修正に伴う配当予想の変更はありません。

※本業績の修正については、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる可能性があります。

以上